

C09D コ - ティング組成物, 例 . ペンキ, ワニスまたはラッカ - ; パテ; 塗料除去剤インキ消し; インキ; 修正液; 木材用ステイン; 糊状または固形の着色料または捺染料; これらの物質の使用法 (化粧品 A61K; 液体または他の流動性物質を表面に適用する方法一般 B05D; 木材の着色 B27K5/02; うわ薬またはガラス質エナメル C03C; 天然樹脂, フランスポリッシュ, 乾性油, ドライヤ -, テレピン油, それ自体 C09F; フランスポリッシュ以外のつや出し組成物, スキ - ワックス C09G; 接着剤または接着剤としての物質の使用 C09J; ジョイントまたはカバ - をシ - ルまたはパッキングするための物質 C09K3/10; 漏れを止めるための物質 C09K3/12; 電気分解または電気泳動による被覆膜の製造 C25D) [5]

注

(1) このサブクラスにおいては, 下記の用語は以下に示す意味で用いる:

“物質のコ - ティング組成物としての使用” は, 公知または新規な重合体または製品の使用を指す。

“ゴム” とは, 以下のものを包含する。

(a) 天然または共役ジエンゴム

(b) ゴム一般 (天然または共役ジエンゴム以外の特定のゴムについては, このような高分子化合物に基くコ - ティング組成物が分類されるグル - プを参照);

“基づく” とは, 下記注 (3) で定義される。

“パテ” とは, コ - ティングに先立って基質の穴またはくぼみをふさぎ表面を滑らかにするために使用される物質である。[5]

(2) このサブクラスにおいては, 特定の有機高分子物質を含むコ - ティング組成物はその有機高分子物質のみに従って分類され, 非高分子物質は考慮されない。例: ポリエテンとアミノプロピルトリメトキシランを含有するコ - ティング組成物はグル - プ 123/06 に分類される。

ただし, 少なくとも 1 つの重合体炭素 炭素不飽和結合を有する有機高分子化合物と, グル - プ 159/00-187/00 の不飽和重合体以外の初期重合体または重合体との組合せを含むコ - ティング組成物は, その不飽和重合体成分に従って, グル - プ 4/00 に分類される。

例: ポリエテンとスチレンモノマー - を含有するコ - ティング組成物はグル - プ 4/00 に分類される。コ - ティング組成物の物理的性質または生ずる効果は, グル - プ 5/00 に定義されるように, 明確に述べられているならば, このサブクラスにも分類される。

その他の特色, 例 . 添加剤, に特徴のあるコ - ティング組成物は, 特定の高分子成分が指定されない限り, グル - プ 7/00 に分類される。[5]

(3) このサブクラスにおいては, 2 種以上の高分子成分から成るコ - ティング組成物は, その組成物の基礎となっており, かつ最も高い比率で含まれる高分子成分に従って分類される。組成物が同じ比率で含まれる 2 種以上の成分に基づく場合, その組成物はこれらの成分それぞれに従って分類される。

例: ポリエテン 80 部に対しポリ塩化ビニル 20 部を含有するコ - ティング用組成物はグル - プ 123/06 に分類される。ポリエテン 40 部に対しポリ塩化ビニル 40 部を含有するコ - ティング用組成物はグル - プ 123/06 および 127/06 に分類される。[5]

サブクラス内の索引

コ - ティング組成物, 例 . ペンキ, ワニス, ラッカ - 無機物に基づくもの 1/00

有機分子に基づくもの 101/00-201/00

少なくとも 1 つの重合性炭素 炭素不飽和結合をもつ有機高分子化合物に基づくもの 4/00

物理的性質または生ずる効果, パテとしての使用を含む

5/00

その他の特色 7/00

インキ 11/00

木材ステイン 15/00

塗料除去剤またはインキ消し 9/00

修正液 10/00

着色または捺染用ペ - ストまたは固体

鉛筆の芯; クレヨン組成物; 白墨組成物 13/00

顔料ペ - スト 17/00

1/00 無機物質に基づくコ - ティング組成物, 例 . ペンキ, ワニスまたはラッカ - [2006.01]

1/02 ・アルカリ金属のけい酸塩

1/04 ・有機添加物と共に用いるもの

1/06 ・セメント

1/08 ・有機添加物と共に用いるもの

1/10 ・石灰

1/12 ・有機添加物と共に用いるもの

4/00

コ - ティング組成物, 例 . ペンキ, ワニスまたはラッカ -, 少なくとも 1 つの重合性不飽和炭素 炭素結合を持つ有機高分子化合物に基づくもの [5]

4/02 ・アクリル単量体 [5]

4/04 ・シアノアクリレ - ト単量体 [5]

4/06 ・グル - プ C09D159/00-C09D187/00 の不飽和重合体以外的高分子化合物との組み合わせ [5]

5/00 物理的性質または生ずる効果によって特徴づけられたコ - ティング組成物, 例 . ペンキ, ワニスまたはラッカ - ; パテ [5]

D 下塗り塗料

Z その他 (他のサブグル - プに該当するものを除く)

5/02 ・エマルジョンペイント

5/03 ・粉体塗料 (C09D5/46 が優先) [4]

5/04 ・チキソトロピックペイント

5/06 ・絵具

5/08 ・防食ペイント

5/10 ・金属粉を含むもの

5/12 ・ウォッシュプライマ -

5/14 ・殺生物剤を含有するペイント, 例 . 殺菌剤, 殺昆虫剤または殺虫剤 (C09D5/16 が優先) [6]

5/16 ・防汚ペイント; 水中ペイント [6]

5/18 ・防火塗料

5/20 ・可はく離性塗料, 例 . 凝集フィルムとして剥がすことが可能な一時的な塗膜のための塗料

5/22 ・発光塗料

5/23 ・磁化するまたは磁性ペイントまたはラッカ - [2]

5/24 ・電導性塗料

5/25 ・電気絶縁ペイントまたはラッカ - [2]

5/26 ・示温塗料

5/28 ・しわ, ひび割れ, ゆずはだまたは同様な装飾効果を与えるもの

5/29 ・多色効果を与えるもの [2]

5/30 ・迷彩塗料

5/32 ・放射線吸収塗料

5/33 ・放射線反射塗料 [4]

5/34 ・パテ (ジョイントまたはカバ - を, シ - ルまたはパッキングするための物質 C09K3/10; 漏れを止めるための物質 C09K3/12)

5/36	・バ - ルエッセンス, 例 . 真珠光沢のために扁平状顔料を含有するもの	11/102	・・・不飽和炭素 - 炭素結合のみが関与する反応以外の反応によって得られた高分子化合物を含むもの [2014.01]
5/38	・グル - プ C09D5/00-C09D5/36 に分類されない遊離金属を含有するペイント [2]	11/103	・・・アルデヒドの, 例 . フェノ - ルホルムアルデヒド樹脂 [2014.01]
5/44	・電気泳動的適用のためのもの (C09D5/46 が優先; 電気泳動による被覆のための方法 C25D13/00) [4]	11/104	・・・ポリエステル [2014.01]
A	カチオン電着塗料	11/105	・・・アルキド樹脂 [2014.01]
B	アニオン電着塗料	11/106	・・・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られた高分子化合物を含むもの [2014.01]
Z	その他	11/107	・・・不飽和酸またはその誘導体を原料とするもの [2014.01]
5/46	・溶射法のためのもの; 静動塗装または回転焼結塗装のためのもの [4]	11/108	・・・炭化水素樹脂 [2014.01]
7/00	グル - プ C09D5/00 に分類されない塗料組成物の特色 (乾燥剤 C09F9/00); 塗料組成物に成分を混合するためのプロセス [2018.01]	11/12	・・ろうまたは瀝青物を基材とするもの
7/20	・希釈剤または溶剤 [2018.01]	11/14	・・炭水化物を基材とするもの
7/40	・添加物 [2018.01]	11/16	・筆記用インキ [1,2014.01]
7/41	・・有機顔料; 有機染料 [2018.01]	11/17	・・着色剤に特徴があるもの [2014.01]
7/42	・・つや消し剤 [2018.01]	11/18	・・ボ - ルペンに使用するもの
7/43	・・増粘剤 [2018.01]	11/20	・・消えないインキ
7/44	・・・2 以上の増粘剤の組み合わせ [2018.01]	11/30	・インクジェット印刷インキ [2014.01]
7/45	・・沈降防止剤 [2018.01]	11/32	・・着色剤に特徴があるもの [2014.01]
7/46	・・皮張り防止剤 [2018.01]	11/322	・・・顔料インキ [2014.01]
7/47	・・レベリング剤 [2018.01]	11/324	・・・カ - ボンブラックを含むもの [2014.01]
7/48	・・酸素, 光または熱による劣化防止剤 [2018.01]	11/326	・・・顔料分散剤に特徴があるもの [2014.01]
7/60	・・非高分子のもの (C09D7/41-C09D7/48 が優先) [2018.01]	11/328	・・・染料に特徴があるもの [2014.01]
7/61	・・・無機物 [2018.01]	11/34	・・ホットメルトインキ [2014.01]
7/62	・・・他の化合物により処理されたもの [2018.01]	11/36	・・非水性溶媒に基づくもの [2014.01]
7/63	・・・有機物 [2018.01]	11/38	・・溶剤, 顔料または染料以外の非高分子添加剤に特徴があるもの [2014.01]
7/65	・・高分子のもの (C09D7/41-C09D7/48 が優先) [2018.01]	11/40	・・多色インクジェット印刷に適したインキセット [2014.01]
7/80	・成分を混合するためのプロセス [2018.01]	11/50	・不可視インキ, 色彩変化インキ, または類似のインキ [2014.01]
9/00	化学的塗膜またはインキ除去剤 (被覆による印刷の誤りの修正のための流動媒体 C09D10/00) [4]	11/52	・導電性インキ [2014.01]
9/02	・研磨材を用いるもの	11/54	・インキ液体と, 反応液, 定着液または処理液との 2 種類の液体に基づくインキ [2014.01]
9/04	・界面活性剤を用いるもの	13/00	鉛筆のしん; クレヨン組成物; 白墨組成物
10/00	修正液, 例 . 被覆による印字の誤字修正液 [5]	15/00	木材ステイン [2]
11/00	インキ [1,2014.01]	17/00	顔料ペ - スト, 例 . ペイントにおける混合用 [2]
11/02	・印刷インキ (C09D11/30 が優先) [1,2014.01]	多糖類またはその誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	
11/023	・・・エマルジョンインキ [2014.01]		
11/0235	・・・コピ - インキ, 例 . 孔版印刷用 [2014.01]	(1) グル - プ 101/00 から 201/00 においてはサブクラス C09D のタイトルに続く注 (3) に従った分類によっては特定されないが, その使用法が新規かつ非自明と判断できると思われるコ - ティング組成物の高分子成分も, 101/00 から 201/00 のグル - プから選択したグル - プに分類しなければならない。 [8]	
11/03	・・・バインダ - の化学的性質以外の特性に特徴があるもの [2014.01]		
11/033	・・・溶剤に特徴があるもの [2014.01]	(2) サブクラス C09D のタイトルに続く注 (3) または上記注 (1) に従った分類によっては特定されないが, 検索に有用な情報を表していると思われるコ - ティング組成物の高分子成分も, 101/00 から 201/00 のグル - プから選択したグル - プに分類してもよい。例えばこれは, 分類記号の組合わせを用いた組成物の検索が可能となることが重要であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は, 「付加情報」として表示すべきである。 [8]	
11/037	・・・顔料に特徴があるもの [2014.01]		
11/04	・・蛋白質を基材とするもの	101/00	セルロ - ス, 変性セルロ - スまたはセルロ - ス誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
11/06	・・脂肪油を基材とするもの	101/02	・セルロ - ス; 変性セルロ - ス [5]
11/08	・・天然樹脂を基材とするもの	101/04	・・酸化セルロ - ス; ヒドロセルロ - ス [5]
11/10	・・人造樹脂を基材とするもの [1,2014.01]	101/06	・・水和セルロ - ス [5]
11/101	・・・波動エネルギー - または粒子線, 例 . 紫外線による硬化を含む印刷工程に適合するインキ [2014.01]		

101/08	・セルロ - ス誘導体 [5]	113/00	カルボキシル基を含有するゴムに基づくコ - ティング組成物 [5]
101/10	・有機酸のエステル (有機酸と無機酸の両方のもの C09D101/20) [5]	113/02	・ラテックス [5]
101/12	・酢酸セルロ - ス [5]	115/00	ゴムの誘導体に基づくコ - ティング組成物 (C09D111/00, C09D113/00 が優先) [5]
101/14	・混合エステル, 例 . 酢酸酪酸セルロ - ス [5]	115/02	・ハロゲンを含有するゴム誘導体 [5]
101/16	・無機酸のエステル (有機酸と無機酸の両方のもの C09D101/20) [5]	117/00	再生ゴムに基づくコ - ティング組成物 [5]
101/18	・硝酸セルロ - ス [5]	119/00	グル - プ C09D107/00-C09D117/00 に属さない, ゴムに基づくコ - ティング組成物 [5]
101/20	・有機酸と無機酸の混合エステル [5]	119/02	・ラテックス [5]
101/22	・セルロ - スザンテ - ト [5]	121/00	特定化されていないゴムに基づくコ - ティング組成物 [5]
101/24	・ビスコ - ス [5]	121/02	・ラテックス [5]
101/26	・セルロ - スエ - テル [5]	炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られる高分子化合物に基づくコ - ティング組成物 [5]	
101/28	・アルキルエ - テル [5]	(1) グル - プ 123/00-149/00 においては, 下記の用語は以下に示す意味で用いる:	
101/30	・アリ ルエ - テル; アラルキルエ - テル [5]	”脂肪族基” という語は, 次の (a) - (c) に対する各結合によって停止されているとみられる非環式または非芳香族炭素環式の炭素骨格を意味する:	
101/32	・セルロ - スエ - テルエステル [5]	(a) 炭素以外の元素;	
103/00	でん粉, アミロ - スもしくはアミロペクチンまたはそれらの誘導体もしくは分解生成物に基づくコ - ティング組成物 [5]	(b) 炭素以外の 1 個の原子に対する二重結合を持つ炭素原子;	
103/02	・でん粉; その分解生成物, 例 . デキストリン [5]	(c) 芳香族炭素環または複素環	
103/04	・でん粉誘導体 [5]	(2) グル - プ 123/00-149/00 においては, 相反する指示がない限り, 共重合体は主成分の単量体に基づいて分類する。	
103/06	・エステル [5]	123/00	ただ一つの炭素 炭素二重結合をもつ不飽和脂肪族炭化水素の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
103/08	・エ - テル [5]	123/02	・化学的な後処理によって変性されていないもの [5]
103/10	・酸化でん粉 [5]	123/04	・エテンの単独重合体または共重合体 [5]
103/12	・アミロ - ス; アミロペクチン; それらの分解生成物 [5]	123/06	・ポリエテン [5]
103/14	・アミロ - ス誘導体; アミロペクチン誘導体 [5]	123/08	・エテンの共重合体 (C09D123/16 が優先) [5]
103/16	・エステル [5]	123/10	・プロペンの単独重合体または共重合体 [5]
103/18	・エ - テル [5]	123/12	・ポリプロペン [5]
103/20	・酸化アミロ - ス; 酸化アミロペクチン [5]	123/14	・プロペンの共重合体 (C09D123/16 が優先) [5]
105/00	グル - プ C09D101/00 または C09D103/00 に属さない多糖類またはその誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	123/16	・エテン プロペン 共重合体またはエテン プロペン ジエン共重合体 [5]
105/02	・デキストラン; その誘導体 [5]	123/18	・4 以上の炭素原子を有する炭化水素の単独重合体または共重合体 [5]
105/04	・アルギン酸; その誘導体 [5]	123/20	・炭素数が 4-9 のもの [5]
105/06	・ペクチン; その誘導体 [5]	123/22	・イソブテンの共重合体; ブチルゴム [5]
105/08	・キチン; コンドロイチン硫酸; ヒアルロン酸; それらの誘導体 [5]	123/24	・炭素数が 10 以上のもの [5]
105/10	・ヘパリン; その誘導体 [5]	123/26	・化学的な後処理によって変性されたもの [5]
105/12	・寒天; その誘導体 [5]	123/28	・ハロゲンまたはハロゲン含有化合物との反応による (C09D123/32 が優先) [5]
105/14	・ヘミセルロ - ス; その誘導体 [5]	123/30	・酸化による [5]
105/16	・シクロデキストリン; その誘導体 [5]	123/32	・りん含有物またはいおう含有化合物との反応による [5]
ゴムまたはその誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]		123/34	・クロロスルホン化による [5]
107/00	天然ゴムに基づくコ - ティング組成物 [5]	123/36	・窒素含有化合物との反応, 例 . ニトロ化 による [5]
107/02	・ラテックス [5]		
109/00	共役ジエン炭化水素の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物 [5]		
109/02	・アクリロニトリルとの共重合体 [5]		
109/04	・ラテックス [5]		
109/06	・スチレンとの共重合体 [5]		
109/08	・ラテックス [5]		
109/10	・ラテックス (C09D109/04, C09D109/08 が優先) [5]		
111/00	クロロプレンの単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物 [5]		
111/02	・ラテックス [5]		

125/00	ただ一つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、その少なくとも一つが芳香族炭素環によって停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づくコーティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]	129/10	・不飽和エ - テルの単独重合体または共重合体 (C09D135/08 が優先) [5]
125/02	・炭化水素の単独重合体または共重合体 [5]	129/12	・不飽和ケトンの単独重合体または共重合体 [5]
125/04	・スチレンの単独重合体または共重合体 [5]	129/14	・不飽和アセタ - ルまたはケタ - ルの重合によって、または不飽和アルコ - ルの重合体の後処理によって得られるアセタ - ルまたはケタ - ルの単独重合体または共重合体 [5]
125/06	・ポリスチレン [5]	131/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、その少なくとも一つが飽和カルボン酸の炭酸またはハロゲン酸のアシロキシ基によって停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づくコーティング組成物 (加水分解重合体に基づくもの C09D129/00); そのような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]
125/08	・スチレンの共重合体 (C09D129/08, C09D135/06, C09D155/02 が優先) [5]	131/02	・モノカルボン酸のエステルの単独重合体または共重合体 [5]
125/10	・共役ジエンとの [5]	131/04	・酢酸ビニルの単独重合体または共重合体 [5]
125/12	・不飽和ニトリルとの [5]	131/06	・多価カルボン酸のエステルの単独重合体または共重合体 [5]
125/14	・不飽和エステルとの [5]	131/08	・フタル酸の [5]
125/16	・アルキル置換スチレンの単独重合体または共重合体 [5]	133/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、そのうちただ 1 つの脂肪族基がただ 1 つのカルボキシル基によって停止されている化合物またはその塩、無水物、エステル、アミド、イミドまたはそのニトリルの単独重合体または共重合体に基づくコーティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]
125/18	・炭素および水素以外の元素を含有する芳香族単量体の単独重合体または共重合体 [5]	133/02	・酸の単独重合体または共重合体; その金属塩またはアンモニウム塩 [5]
127/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する、1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、その少なくとも一つがハロゲンによって停止されている化合物の化合物の単独重合体または共重合体に基づくコーティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]	133/04	・エステルの単独重合体または共重合体 [5]
127/02	・化学的後処理によって変性されていないもの [5]	133/06	・炭素、水素および酸素のみを含有し、しかもその酸素はカルボキシル基の一部としてのみ存在するエステルの [5]
127/04	・塩素原子を含有するもの [5]	133/08	・アクリル酸エステルの単独重合体または共重合体 [5]
127/06	・塩化ビニルの単独重合体または共重合体 [5]	133/10	・メタクリル酸エステルの単独重合体または共重合体 [5]
127/08	・塩化ビニリデンの単独重合体または共重合体 [5]	133/12	・メチルメタクリレ - トの単独重合体または共重合体 [5]
127/10	・臭素原子または沃素原子を含むもの [5]	133/14	・ハロゲン、窒素、硫黄またはカルボキシル基の酸素以外の酸素原子を含有するエステルの [5]
127/12	・ふっ素を含有するもの [5]	133/16	・ハロゲン原子を含有するエステルの単独重合体または共重合体 [5]
127/14	・ふっ化ビニルの単独重合体または共重合体 [5]	133/18	・ニトリルの単独重合体または共重合体 [5]
127/16	・ふっ化ビニリデンの単独重合体または共重合体 [5]	133/20	・アクリロニトリルの単独重合体または共重合体 (C09D155/02 が優先) [5]
127/18	・テトラフルオロエテンの単独重合体または共重合体 [5]	133/22	・4 個以上の炭素原子と含有するニトリルの単独重合体または共重合体 [5]
127/20	・ヘキサフルオロプロペンの単独重合体または共重合体 [5]	133/24	・アミドまたはイミドの単独重合体または共重合体 [5]
127/22	・化学的後処理によって変性されたもの [5]	133/26	・アクリルアミドまたはメタクリルアミドの単独重合体または共重合体 [5]
127/24	・ハロゲン化されたもの [5]		
129/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する、1 個以上の不飽和脂肪族基をもち、その少なくとも一つがアルコ - ル、エ - テル、アルデヒド、ケトン、アセタ - ルまたはケタ - ル基によって停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づくコーティング組成物; 不飽和アルコ - ルと飽和カルボン酸とのエステルの重合体を加水分解したものに基づくコーティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]		
129/02	・不飽和アルコ - ルの単独重合体または共重合体 (C09D129/14 が優先) [5]		
129/04	・ポリビニルアルコ - ル; 不飽和アルコ - ルと飽和カルボン酸のエステルの単独重合体または共重合体の部分加水分解物 [5]		
129/06	・アリルアルコ - ルの共重合体 [5]		
129/08	・ビニル芳香族単量体との [5]		

135/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち, その少なくとも 1 つがカルボキシル基によって停止されており, そしてその分子中に少なくとも 1 個の他のカルボキシル基をもつ化合物, その塩, 無機物, エステル, アミド, イミドもしくはニトリルの単独重合または共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	147/00	1 個以上の不飽和脂肪族基をもち, 少なくともその 1 つが 2 個以上の炭素 炭素二重結合をもつ化合物の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 (C09D145/00 が優先; 共役ジエンゴムに基づくもの C09D109/00-C09D121/00) [5]
135/02	・エステル単独重合体または共重合体 (C09D135/06, C09D135/08 が優先) [5]	149/00	1 個以上の炭素 炭素三重結合をもつ化合物の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
135/04	・ニトリルの単独重合体または共重合体 (C09D135/06, C09D135/08 が優先) [5]	151/00	グラフト成分が炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られるグラフト重合体に基づくコ - ティング組成物 (ABS 重合体に基づくもの C09D155/02); そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
135/06	・ビニル芳香族単量体との共重合体 [5]	151/02	・多糖類にグラフトされた [5]
135/08	・ビニルエ - テルとの共重合体 [5]	151/04	・ゴムにグラフトされた [5]
137/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち, その少なくとも 1 つは酸素を含む複素環によって停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物 (多官能性の酸の環状エステルの重合体に基づくもの C09D131/00; 不飽和酸の環状無水物の重合体に基づくもの C09D135/00); そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	151/06	・ただ 1 個の炭素 炭素二重結合を含有する脂肪族炭化水素の単独重合体または共重合体にグラフトされた [5]
139/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち, その少なくとも 1 つが窒素に対する単結合もしくは二重結合または窒素含有複素環により停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	151/08	・不飽和炭素 炭素結合のみが関与する以外の反応によって得られる高分子化合物にグラフトされた [5]
139/02	・ビニルアミンの単独重合体または共重合体 [5]	151/10	・無機材料にグラフトされた [5]
139/04	・窒素含有複素環を有する単量体の単独重合体または共重合体 [5]	153/00	炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる重合体の連鎖を少なくとも 1 個含有するブロック共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
139/06	・N ビニル ピロリドンの単独重合体または共重合体 [5]	153/02	・ビニル芳香族単量体および共役ジエンの [5]
139/08	・ビニル ピリジンの単独重合体または共重合体 [5]	155/00	グル - プ C09D123/00-C09D153/00 に属さない炭素 炭素不飽和結合のみが関与する重合反応によって得られる単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物 [5]
141/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち, その少なくとも 1 つがいおうに対する結合またはいおう含有複素環によって停止されている化合物の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	155/02	・ABS [アクリロニトリルブタジエンスチレン] 重合体 [5]
143/00	ただ 1 つの炭素 炭素二重結合を含有する 1 個以上の不飽和脂肪族基をもち, ほう素, けい素, りん, セレン, テルルまたは金属を含有する化合物の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	155/04	・ジエン合成によって得られるポリ付加物 [5]
143/02	・りん含有単量体の単独重合体または共重合体 [5]	157/00	炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる不特定重合体に基づくコ - ティング組成物 [5]
143/04	・けい素含有単量体の単独重合体または共重合体 [5]	157/02	・鉱油炭化水素の共重合体 [5]
145/00	側鎖に不飽和脂肪族基をもち, 炭素環または複素環系に 1 個以上の炭素 炭素二重結合をもつ化合物の単独重合体または共重合体に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 (多官能性酸の環状エステルの C09D131/00; 環状無水物またはイミドの C09D135/00) [5]	157/04	・単量体の少量成分のみが示された共重合体 [5]
145/02	・クマロン インデン重合体の [5]	157/06	・炭素および水素以外の元素を含む単独重合体または共重合体 [5]
		157/08	・ハロゲン原子を含むもの [5]
		157/10	・酸素原子を含むもの [5]
		157/12	・窒素原子を含むもの [5]
			炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物に基づくコ - ティング組成物 [5]
		159/00	ポリアセタ - ルに基づくコ - ティング組成物; ポリアセタ - ルの誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
		159/02	・ポリオキシメチレン連鎖のみを含むポリアセタ - ル [5]
		159/04	・ポリオキシメチレン共重合体 [5]
		161/00	アルデヒドまたはケトンの重縮合に基づくコ - ティング組成物 (ポリアルコールとの C09D159/00; ポリニトリルとの C09D177/00); そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]

161/02 ・アルデヒドまたはケトンのみとの重縮合体 [5]

161/04 ・アルデヒドまたはケトンと、フェノールのみとの重縮合体 [5]

161/06 ・アルデヒドとフェノールとの重縮合体 [5]

161/08 …一価のフェノールとの [5]

161/10 …フェノールホルムアルデヒド重縮合体 [5]

161/12 …多価フェノールとの [5]

161/14 …変性フェノールアルデヒド重縮合体 [5]

161/16 …ケトンとフェノールとの重縮合体 [5]

161/18 ・アルデヒドまたはケトンと芳香族炭化水素またはそのハロゲン誘導体のみとの重縮合体 [5]

161/20 ・アルデヒドまたはケトンと窒素に結合した水素を含む化合物のみとの重縮合体 (アミノフェノールとの C09D161/04) [5]

161/22 …アルデヒドと非環式または炭素環式化合物との重縮合体 [5]

161/24 …尿素またはチオ尿素との [5]

161/26 …アルデヒドと複素環式化合物との重縮合体 [5]

161/28 …メラミンとの [5]

161/30 …アルデヒドと複素環式化合物および非環式または炭素環式化合物との重縮合体 [5]

161/32 …変性アミンアルデヒド重縮合体 [5]

161/34 ・アルデヒドまたはケトンとのグルブ C09D161/04, C09D161/18 および C09D161/20 のうち少なくとも 2 つに属する単量体との重縮合体 [5]

163/00 エポキシ樹脂に基づくコーティング組成物；エポキシ樹脂の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]

163/02 ・ビスフェノールのポリグリシジエテル [5]

163/04 ・エポキシノボラック [5]

163/06 ・トリグリシジリソシアヌレート [5]

163/08 ・エポキシ化ポリエン重合体 [5]

163/10 ・不飽和化合物で変性されたエポキシ樹脂 [5]

注

相反する指示がない限り、グルブ C09D165/00-C09D185/00 において、主鎖に 2 種の異なる結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づくコーティング組成物は、多量に存在する結合にしたがってのみ分類される。[5]

165/00 主鎖に炭素炭素結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づくコーティング組成物 (C09D107/00-C09D157/00, C09D161/00 が優先) そのような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]

165/02 ・ポリフェニレン [5]

165/04 ・ポリキシリレン [5]

167/00 主鎖にカルボン酸エステル結合を形成する反応によって得られるポリエステルに基づくコーティング組成物 (ポリエステルアミドの C09D177/12, ポリエステルイミドの C09D179/08)；そのような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]

167/02 ・ジカルボン酸とジヒドロキシ化合物から誘導されたポリエステル (C09D167/00 が優先) [5]

167/03 …芳香環に直接結合した水酸基およびカルボキシル基をもつジカルボン酸およびジヒドロキシ化合物 [5]

167/04 ・ヒドロキシカルボン酸、例、ラクトン、より誘導されたポリエステル (C09D167/06 が優先) [5]

167/06 ・炭素炭素不飽和結合をもつ不飽和ポリエステル [5]

167/07 …末端炭素炭素不飽和結合をもつもの [5]

167/08 ・高級脂肪油またはその酸により、または天然樹脂または樹脂酸により変性されたポリエステル [5]

169/00 ポリカーボネートに基づくコーティング組成物；ポリカーボネートの誘導体に基づくコーティング組成物 [5]

171/00 主鎖にエーテル結合を形成する反応によって得られるポリエーテルに基づくコーティング組成物 (ポリアセタールに基づくもの C09D159/00；エポキシ樹脂に基づくもの C09D163/00；ポリチオエーテルエーテルに基づくもの C09D181/02；ポリエーテルスルホンに基づくもの C09D181/06)；これらの重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]

171/02 ・ポリアルキレンオキシド [5]

171/03 …ポリエピハロヒドリン [5]

171/08 ・ヒドロキシ化合物またはその金属誘導体から誘導されるポリエーテル (C09D171/02 が優先) [5]

171/10 …フェノールから誘導されるもの [5]

171/12 …ポリフェニレンオキシド [5]

171/14 …フルフリルアルコール重合体 [5]

173/00 グルブ C09D159/00-C09D171/00 に属さない主鎖に酸素、または酸素および炭素を含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づくコーティング組成物；そのような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]

173/02 ・ポリ酸無水物 [5]

175/00 ポリ尿素またはポリウレタンに基づくコーティング組成物；このような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]

175/02 ・ポリ尿素 [5]

175/04 ・ポリウレタン [5]

175/06 …ポリエステルからのもの [5]

175/08 …ポリエーテルからのもの [5]

175/10 …ポリアセタールからのもの [5]

175/12 …窒素および活性水素を含み、該窒素原子がイソシアネート基の一部でない化合物からのもの [5]

175/14 …炭素炭素不飽和結合をもつポリウレタン [5]

175/16 …炭素炭素不飽和結合を末端にもつもの [5]

177/00 主鎖にカルボン酸アミド結合を形成する反応により得られるポリアミドに基づくコーティング組成物 (ポリヒドラジド C09D179/06；ポリアミドイミド C09D179/08)；このような重合体の誘導体に基づくコーティング組成物 [5]

177/02 ・アミノカルボン酸またはそのラクタムから誘導されたポリアミド (C09D177/10 が優先) [5]

177/04 ・アミノカルボン酸から誘導されたポリアミド (C09D177/10 が優先) [5]

177/06	・ポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されたポリアミド (C09D177/10 が優先) [5]	183/10	・ポリシロキサン連鎖を含むブロックまたはグラフト共重合体 (ポリシロキサンに炭素 炭素二重結合をもつ化合物を重合することによって得られるもの C09D151/08, C09D153/00) [5]
177/08	・ポリアミンおよび重合不飽和脂肪酸からのもの [5]	183/12	・ポリエ - テル連鎖を含むもの [5]
177/10	・アミノカルボン酸のまたはポリアミンおよびポリカルボン酸の芳香族結合アミノ基および芳香族結合カルボキシル基から誘導されたポリアミド [5]	183/14	・少くとも二個だが全てではないけい素原子が酸素原子以外の結合によって結合されているもの (C09D183/10 が優先) [5]
177/12	・ポリエステル アミド [5]	183/16	・全てのけい素原子が酸素原子以外の結合によって結合されているもの [5]
179/00	グル - プ C09D161/00-C09D177/00 に属さない, 主鎖のみに酸素または炭素を含みまたは含まずに窒素を含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づくコ - ティング組成物 [5]	185/00	主鎖に, けい素, いおう, 窒素, 酸素および炭素以外の原子を含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
179/02	・ポリアミン [5]	185/02	・りんを含むもの [5]
179/04	・主鎖に窒素含有複素環を有する重縮合体; ポリヒドラジド; ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質 [5]	185/04	・ほう素を含むもの [5]
A	ポリベンズイミダゾ - ル系, ポリイミダゾピロロン系	187/00	炭素 炭素不飽和結合のみが関与する重合反応以外の反応によって得られる不特定の高分子化合物に基づくコ - ティング組成物 [5]
B	ポリベンズオキサゾ - ル系	天然高分子化合物またはその誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	
Z	その他	189/00	蛋白質に基づくコ - ティング組成物; その誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
179/06	・ポリヒドラジド; ポリトリアゾ - ル; ポリアミノトリアゾ - ル; ポリオキサジアゾ - ル [5]	189/02	・カゼイン アルデヒド縮合物 [5]
A	ポリヒドラジド系, ポリオキサジアゾ - ル系	189/04	・廃材料, 例 . 角, ひづめまたは毛髪から誘導されるもの [5]
Z	その他	189/06	・皮革または皮膚から誘導されるもの [5]
179/08	・ポリイミド; ポリエステル イミド; ポリアミド イミド; ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質 [5]	191/00	油, 脂肪またはワックスに基づくコ - ティング組成物, その誘導体に基づくコ - ティング組成物 (つや出し組成物, スキ - ワックス C09G) [5]
A	ポリイミド系	191/02	・加硫油, 例 . ファクチス [5]
B	ポリアミドイミド系	191/04	・リノキシシ [5]
D	ポリエステルイミド系	191/06	・ワックス [5]
Z	その他	191/08	・ミネラルワックス [5]
181/00	主鎖のみに, 窒素, 酸素または炭素を含みまたは含まずにいおうを含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づくコ - ティング組成物; ポリスルホンに基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	193/00	天然樹脂に基づくコ - ティング組成物; その誘導体に基づくコ - ティング組成物 (多糖類に基づくもの C09D101/00-C09D105/00; 天然ゴムに基づくもの C09D107/00; つや出し組成物 C09G) [5]
181/02	・ポリチオエ - テル; ポリチオエ - テルエ - テル [5]	193/02	・シェラック [5]
181/04	・ポリスルフィド [5]	193/04	・ロジン [5]
181/06	・ポリスルホン; ポリエ - テルスルホン [5]	195/00	瀝青質材料, 例 . アスファルト, タ - ルまたはビッチに基づくコ - ティング組成物 [5]
181/08	・ポリスルホネ - ト [5]	197/00	リグニン含有材料に基づくコ - ティング組成物 (多糖類に基づくもの C09D101/00-C09D105/00) [5]
181/10	・ポリスルホンアミド; ポリスルホンイミド [5]	197/02	・リグノセルロ - ス材料, 例 . 木材, 麦わらまたはバガス [5]
183/00	主鎖のみに, いおう, 窒素, 酸素または炭素を含みまたは含まずにけい素を含む結合を形成する反応によって得られる高分子化合物に基づくコ - ティング組成物; そのような重合体の誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]	199/00	グル - プ C09D101/00-C09D107/00 または C09D189/00-C09D197/00 に属さない天然高分子化合物またはその誘導体に基づくコ - ティング組成物 [5]
183/02	・ポリシリケ - ト [5]	201/00	不特定の高分子化合物に基づくコ - ティング組成物 [5]
183/04	・ポリシロキサン [5]	201/02	・特定の基の存在によって特徴づけられるもの [5]
183/05	・水素と結合したけい素を含むもの [5]	201/04	・ハロゲン原子を含むもの [5]
183/06	・酸素含有基に結合したけい素を含むもの (C09D183/12 が優先) [5]	201/06	・酸素原子を含むもの [5]
183/07	・不飽和脂肪族基に結合したけい素を含むもの [5]	201/08	・カルボキシル基 [5]
183/08	・炭素, 水素および酸素以外の原子を含む有機基に結合したけい素を含むもの [5]		

